

# 第3回 播磨科学公園都市の新たなあり方検討協議会

令和7年12月24日（水）15：00～

【場所】

ひょうご環境体験館 シアター

兵庫県 たつの市 上郡町 佐用町

## Contents

### 【報告】第2回協議会（前回）のふり返りと以降の動き

1 第2回協議会以降の取組	
(1) 検討経緯	2
2 マネジメント会議について	
(1) 目的と取組	3
(2) 開催概要	4
(3) とりまとめ	6
3 地域での意見交換	
(1) 地域意見交換会	8
(2) 西播磨フロンティア祭	9
(3) 主な意見内容	10
4 播磨科学公園都市における関係機関の取組	
(1) 播磨高原東小学校及び播磨高原東中学校の在り方検討会について	12
(2) 兵庫県立大学 播磨理学キャンパスの取組について	13
(3) SPring-8の取組について	14

### 【議事】今後の進め方

5 今後の進め方	
(1) 作業部会の検討体制（案）	15
(2) 今後の検討の方向性（案）	16
(3) コンセプト（キーワード）（案）	19
(4) 作業部会の基本的な進め方（案）	20
(5) スケジュール（案）	21
(6) 部会での当面の取組予定（案）	22



# 1 第2回協議会以降の取組

## (1) 検討経緯

項目	月 令和6年度	令和7年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
協議会	● 11/11 【第1回】	● 3/27 【第2回】								● 12/24 【第3回】			
作業部会	マネジメント会議			● 5/26 【第1回】	● 6/30 【第2回】	● 8/4 【第3回】		● 10/3 【第4回】	● 11/21 【第5回】			検討継続	
	作業チーム											検討継続	
地域意見交換会								● 10/17 【1日目】	● 10/19 【2日目】	● 11/26 【学生との意見交換会】	● 12/12 企業アンケート	● 1/19(予定) 【子育て世代との意見交換会】	
その他				● 6/27 まちづくり協議会 ・住民部会 ・立地施設部会		● 8/5 まちづくり協議会 ・全体会	● 8/26 企画担当 課長調整 会議	● 9/12 企画担当 課長調整 会議	● 9/19 企画担当 課長調整 会議		● 12/18 企画担当 課長調整 会議	● 12/19 企画担当 課長調整 会議	

## 2 マネジメント会議について

### (1) 目的と取組

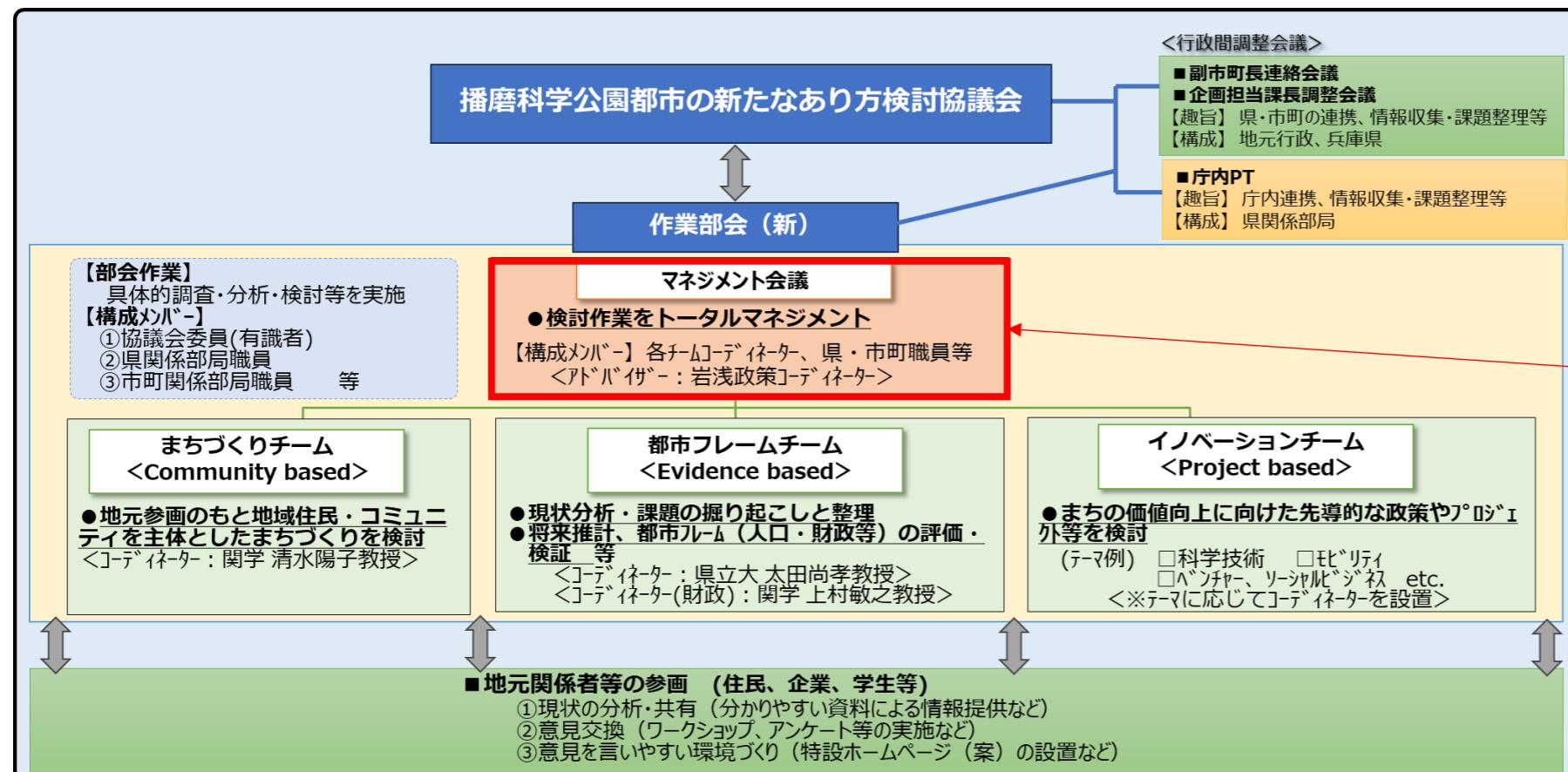
#### ■これまでのマネジメント会議の目的

関係団体（西播磨県民局、たつの市、上郡町、佐用町、播磨高原広域事務組合、企業庁）の職員間で、都市の現状を把握し、魅力と課題の共有を図る。あわせて地域の方々との意見交換を行うと共にその情報を発信し、地域の意見を加えた課題と論点整理を経て、作業部会の設立に繋げる。

#### ■これまでのマネジメント会議の取組

令和7年度に入り、これまでマネジメント会議を5回開催すると共に地域意見交換会を2回開催、西播磨フロンティア祭ではブース出展をするなど地域意見の収集と情報発信に努め、部会設立に向けた取組を推進してきた。

この度、活動結果をとりまとめたので以下に報告する。



※第2回協議会資料より抜粋

## 2 マネジメント会議について

### (2) 開催概要

#### ■第1回マネジメント会議 開催概要

テーマ	播磨科学公園都市の課題と魅力（その1）	内容
日時	令和7年5月26日（月）	1. 趣旨説明 2. 意見交換（ワークショップ） テーマ1：播磨科学公園都市の課題は？ テーマ2：播磨科学公園都市の魅力や可能性は？ 3. 意見の共有
場所	県立ひょうご女性交流館	
参加者	たつの市、上郡町、佐用町、播磨高原広域事務組合、西播磨県民局、兵庫県企業庁、コーディネーター等	



ワークショップ・意見共有の様子

#### ■第2回マネジメント会議 開催概要

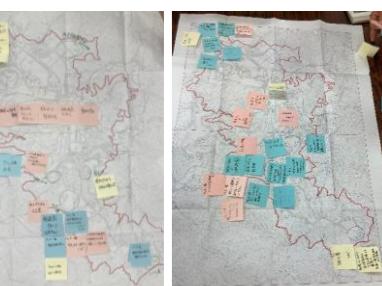
テーマ	播磨科学公園都市の課題と魅力（その2）	内容
日時	令和7年6月30日（月）	1. フィールドワーク (業務用地・住宅地、オプトヒルズ、小・中学校など) 2. 意見交換（ワークショップ） テーマ1：播磨科学公園都市の課題は？ テーマ2：播磨科学公園都市の魅力や可能性は？ 3. 意見の共有
場所	西播磨県民局	
参加者	たつの市、上郡町、佐用町、播磨高原広域事務組合、西播磨県民局、兵庫県企業庁、コーディネーター	



フィールドワーク・ワークショップ・意見共有の様子

#### ■第3回マネジメント会議 開催概要

テーマ	播磨科学公園都市の課題と魅力（その3）	内容
日時	令和7年8月4日（月）	1. フィールドワーク (枇杷ノ谷、播磨高原浄化センター、兵庫県立大学など) 2. 意見交換（ワークショップ） 3. 意見の共有
場所	播磨高原広域事務組合	
参加者	たつの市、上郡町、佐用町、播磨高原広域事務組合、西播磨県民局、兵庫県企業庁、コーディネーター	



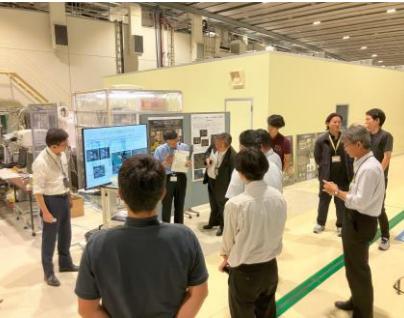
意見共有の様子・意見交換結果

## 2 マネジメント会議について

### (2) 開催概要

#### ■第4回マネジメント会議 開催概要

テーマ	播磨科学公園都市の課題と魅力（その4）	内容
日時	令和7年10月3日（金）	1. SPring-8概要説明・視察 2. SPring-8との意見交換 3. 意見交換（ワークショップ） 4. 意見の共有 5. ニュースレターvol.1の配布について情報共有（地域意見交換会に向けた資料）
場所	SPring-8	
参加者	たつの市、上郡町、佐用町、播磨高原広域事務組合、西播磨県民局、兵庫県企業庁、コーディネーター 等	



SPring-8概要説明・視察の様子

#### ■第5回マネジメント会議 開催概要

テーマ	播磨科学公園都市の課題と魅力（その5）	内容
日時	令和7年11月21日（金）	1. 意見交換（ワークショップ） 2. 意見の共有 3. ニュースレターvo.2の配布について情報共有（住民等から出された意見の整理）
場所	播磨高原広域事務組合	
参加者	たつの市、上郡町、佐用町、播磨高原広域事務組合、西播磨県民局、兵庫県企業庁、コーディネーター	



ワークショップ・意見共有の様子

## 2 マネジメント会議について

### (3) とりまとめ

これまでのマネジメント会議で、都市の魅力と課題を整理し、いくつかの課題等に対して今後の検討事項を提案するもの

#### ■主な検討事項 1

場所・要素	対策・取組（案） (短期：～5年程度)	対策・取組（案） (中長期：5年程度～)	キーワード
暮らし・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の住民のための<u>居住環境維持</u>に関する取組</li> <li><u>身近な医療の充実</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療施設の誘致や遠隔医療の導入など、<u>誰もが医療サービスにアクセス確保</u></li> <li><u>住宅用地や建物</u>についての現在とは別の活用の検討（公営住宅のリノベーションや未利用の住宅地での用途の変更など）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自宅の近くで医療サービスを受けられる</li> <li>安心できる医療体制</li> <li>オンライン医療/移動医療</li> <li>住むためのお店、サービス</li> <li>修繕によるイメージアップ</li> </ul>
教育・人材	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校維持のために、<u>他校との連携や相当に魅力があるカリキュラム</u>などの検討</li> <li><u>大学生が地域へ出てくる仕組づくり</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>小中学校の規模等の検討</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生が過ごしやすい施設、サービス</li> <li>統合/維持するなら+aの魅力</li> </ul>
地域資源 (公園・スポーツ・自然)	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>サッカー場の収支計画・仕組みの見直し</u>（利用者数と料金つり合い）</li> <li><u>サッカー場の他の利用方法の検討</u></li> <li>ストックを活かして<u>わずかな整備</u>で可能な活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用が少ない<u>サッカーコート</u>の利用転換や<u>多目的使用、資金調達、方針再編</u>などの検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年中スポーツができる環境</li> <li>住民交流ができるイベント</li> <li>持続可能なサッカー場運営</li> <li>利用者がテクノで金を落とす仕組みづくり</li> </ul>
賑わい創出・活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>住民自治力の向上</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生が<u>卒業後も住むことができる環境</u>の提供</li> <li><u>交流人口増加</u>に向けた取組</li> <li><u>景観規制による賑わいある景観への影響</u>を検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>常に学生の存在を感じられる街に</li> <li>学生が地域で輝ける</li> </ul>
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>一時利用なども含めた<u>未利用地の活用</u></li> <li><u>民間事業者による利活用</u>に向けた調査</li> <li><u>第1工区への注力</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>民間活力の導入や開発の停止</u>の検討</li> <li><u>開発や運営費用が少ない活用</u>（キャンプ場・牧場）</li> <li><u>産業用地の不足</u>について全体の検討に合わせた方向性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場所利用の見直し</li> <li>新たな（今までと違う使い方）</li> </ul>

## 2 マネジメント会議について

### (3) とりまとめ

#### ■主な検討事項2

場所・要素	対策・取組（案） (短期：～5年程度)	対策・取組（案） (中長期：5年程度～)	キーワード
施設・インフラ	<ul style="list-style-type: none"> <li>上下水道施設は人口減少や第2、第3工区の開発方針を考慮して需要を明確にしたうえで都市経営的視点から<u>規模適正化の検討</u></li> <li>地域住民や学生などの協力やふるさと納税などの<u>資金調達などの維持管理手法</u>の導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>規模の適正化を念頭に、光都プラザ・こぶし苑・公園施設など使わない部分の改修停止など修繕や<u>運営費縮小</u></li> </ul>	—
財政	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>水道料金の負担軽減</u>を考慮した設備更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の人口フレームを踏まえて<u>小中学校償還金への対応検討</u></li> </ul>	—
科学技術・産業	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>立地施設同士の連携強化</u></li> <li><u>SPring-8 の利用、連携の強化</u>など最新技術の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドローンや自動運転等の<u>最先端技術活用</u>による課題解決</li> </ul>	—
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>視点の変更や連携による<u>SPring-8の更なる資源化</u></li> <li>医療や社会課題に対して<u>先進的な実験の場となる可能性</u></li> <li>テクノという地域の<u>知名度</u></li> <li>SPring-8を地域で活用していくための<u>広報や相談の仕組の充実</u></li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>先端テクノロジーの実装を体感できる光都</li> <li>緑の豊かさを活かす方向性</li> <li>SPring-8などの地元の学校への教育連携</li> <li>チャレンジできる（失敗できる）街づくり</li> </ul>

### 3 地域での意見交換

#### (1) 地域意見交換会

#### ■ 地域意見交換会 開催概要

<b>日時</b>	令和7年10月17日（金）18:30～20:00 令和7年10月19日（日）13:30～15:00
<b>場所</b>	ケミプロ化成先端科学技術支援センター
<b>参加者</b>	令和7年10月17日（金）：テクノ住民16名 令和7年10月19日（日）：テクノ住民10名
<b>主催</b>	マネジメント会議

#### プログラム内容

1. 協議会の趣旨・現状の説明
2. テクノのあり方に向けた意見交換
3. 意見共有、質疑応答
4. その他  
(今後の取組への参画に向けた依頼など)



10月17日（金）の意見交換・意見共有の様子



10月19日（日）の意見交換・意見共有の様子



- ポスターセッション形式で魅力・課題等現状を整理したパネルを回覧しながら、それらを踏まえてテクノの今後のあり方について意見交換を行った。
- 最後に、寄せられた意見の内容を発表し、全体で共有した。

### 3 地域での意見交換

#### (2) 西播磨フロンティア祭

#### ■西播磨フロンティア祭 ブース出展概要

日時	令和7年10月25日（土）10:00～15:00
場所	播磨科学公園都市芝生広場
参加者	協議会ブース訪問者 436名
主催	マネジメント会議



西播磨フロンティア祭の様子



意見結果

#### 訪問者から寄せられた主な意見

<テクノ内在住または勤務者からの意見>

- ・学校は必ず残してください、とても素晴らしい学校です！
- ・スーパーが欲しい、病院が近くにあると良い
- ・第2、3工区について自然のまま、森林資源を活用してはどうか
- ・アクセスがもっと良くなればいいな～
- ・海外の技能実習生が多く住んでいるので食料品・日用品等（薬・衣料品）生活に必要な物がそろえられているお店があるといいです

<テクノ外の来訪者>

- ・医療機関が増えて欲しい
- ・買い物できない、車がないと生活できない
- ・県のもっている山を小さい区割りで売って山の生活を楽しめるようにしてはどうか
- ・勤め先となる企業が増えれば嬉しい
- ・自治体がバラバラなのでひとつの町にしては？
- ・子供が遊べる場や若者が集まる施設があればいいな
- ・このまちを西播磨の拠点都市に、ハブに

※頂いた意見をそのまま記載しています。

- ・訪問者が「こんなテクノになってほしい」と感じる思い等を付箋に記入して掲示する参加型のご意見投稿コーナーを設置した。
- ・訪問者が自由に意見を書き込める場として、多様な声を集めた。

### 3 地域での意見交換

#### (3) 主な意見内容

##### ■ 地域意見交換会 主な意見内容 1

カテゴリー	意見
暮らし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コープしか買い物する場所がない。大型ショッピングモールなどのお店があれば良い。</li> <li>・地域内に飲食店等はあるものの数が限られており、バリエーションが増えると嬉しい。</li> <li>・都心へのアクセス性（モビリティ）の向上を図ってほしい。</li> <li>・医療面では内科などのかかりつけ医が不足している。リハビリテーションセンターにも対応いただいているが、制約がある。</li> <li>・学生にとって生活費を稼ぐ場所（アルバイト先）が増えないと嬉しい。</li> <li>・学生が住みやすいように生活利便施設等を整備して欲しい。</li> <li>・勤め先となる企業が増えれば嬉しい。</li> </ul>
学び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テクノ内で小中高大を完結できるような特色ある教育環境を目指すのがよいのではないか。</li> <li>・学校は必ず残してください、とても素晴らしい学校です。</li> </ul>
にぎわい創出 ・活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い人がここに来る魅力や優しさを感じるようなまちにすべきではないか。</li> <li>・教育環境が整つてることで子育て世代が土地を購入してくれるのではないか。</li> <li>・テクノに立地する学校の若者たちが関わるまちづくりの仕組みを作り、テクノで学ぶ学生たちをプレイヤーとして巻き込んで行くのが良いのではないか。</li> <li>・住民の多様性が高い地域である。住民の多様性を上手く生かしてまちづくりを進めていく必要があるのではないか。</li> <li>・サンライフ光都はテクノのイメージに影響を与える可能性が高いため、早期に塗り直しをするのが良いのではないか。</li> <li>・西播磨地区のハブとなる都市を目指してはどうか。 人口減少が進む中でも、最低限の賑わいづくりや、買い物・交通・医療などの生活インフラ整備を進めることは、西播磨地域全体の利点にもつながると考える。</li> <li>・テクノ内には多くのウォーキングコースがあるが、認知が十分に進んでいない。未整備のまま残っているコースもある。 今ある資源を活かしたまちづくりを検討してほしい。</li> <li>・テクノの魅力としては、自然が豊かであることや昆虫がいることなどもある。このような資源を活かしたイベントを検討してもよいのではないか。</li> <li>・子供が遊べる場や若者が集まる施設があればいいな。</li> <li>・テクノは、星が非常にきれいである。自然環境にも富んでおり、紅葉やチューリップ園など四季折々の綺麗な景色がある。これをアピールしてはどうか。</li> <li>・スケボーパーク（姫路、赤穂、相生にはあるが、三市町にはない）などの施設をつくることで、人を呼び込む仕掛けとなるのではないか。</li> <li>・排水処理の確認は要るが、水道の水が余っているのなら、水が豊富に使えることをPRして企業誘致の推進を検討してはどうか。</li> <li>・地盤がしっかりしていてテクノは災害に強いまちであり、その特性を活かしたまちづくりをすることが強みになるのでは。災害時に必要な施設等（高速道路、ヘリポート機能等）も備えている。</li> <li>・都市内の各施設もお互いに行き来しないので、都市内にどんな空間があるのか知られていない。まずは知り合って人間関係を作るところから始めるといいのでは。</li> </ul>

### 3 地域での意見交換

#### (3) 主な意見内容

#### ■地域意見交換会 主な意見内容 2

カテゴリー	意見
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>第1工区の産業用地</u>は売れているが、<u>住宅用地</u>は売れ残っている。<u>第2工区、第3工区に民間企業</u>を呼び込んでいくことで住宅用地も売れるのではないか。</li> <li>・<u>第2、3工区は無理</u>だと思っている。<u>第1工区をより良くするために注力</u>してほしい。</li> <li>・県のもっている山を小さい区割りで売って山の生活を楽しめるようにしてはどうか。</li> </ul>
施設・インフラ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道問題についても、小さな街にあわせたものにするか、ホテルなどを建てて、今のものをそのまま活用するのかという選択肢があるが、どちらにしてもその後の今後の<u>方向性を住民に見せながら、まちづくりを進めていくことが重要</u>である。</li> <li>・人口減少は大きな流れ。水道インフラでは企業を誘致し、一時的に水需要を得ても、その先は現在と同じような課題に直面しているのでは。</li> </ul>
財政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフラの縮小よりも<u>ユーザーを増やすこと</u>によって<u>収益を上げること</u>を考えることができるのではないか。</li> <li>・テクノにとって想定される「最も悪いケース」についても整理・共有しておく必要があるのではないか。</li> <li>・あれがほしい、これがほしいと要望が出てくると思うが、企業庁での採算が取れない場合は一般会計予算からの補填となり結果的に<u>我々の税金から出すこと</u>になるので、よく考えないといけない。</li> </ul>
科学技術・産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>粒子線医療センター</u>の施設は、再利用すれば費用を抑えつつ採算の取れる他の施設として運営できるのではないか。</li> <li>・自動運転については過去に取組があったが、そのような<u>試験/実験</u>をテクノで展開していければいいのではないか。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テクノは今なお、<u>住民が誇りを持って住み続けられるまち</u>であると考えている。</li> <li>・行政職員も「行政としての立場」だけでなく、「個人としての意見」も住民に伝えていくことが大切である。</li> <li>・<u>住民目線の課題と解決に向けた意見交換が必要</u>。</li> <li>・行政は周辺部にこそ注力していく必要がある。中心部は民間企業などの力で活性化していけばいいのではどうか。</li> <li>・テクノポリス構想の当初は長期的・広域的観点から都市づくりの夢を描いていた。 結果としての姿や方法は変わっても<u>理念は継承すべき</u>では。是非ワクワクするようなあり方を探って欲しい。</li> <li>・佐用町では縮充ということを行っている。お金がない中でどうするかが重要である。</li> <li>・人口が少ないまちは、住民の意見が届きやすいという<u>利点</u>がある。</li> <li>・自治体がバラバラなのでひとつの町にしてはどうか。</li> </ul>

## 4 播磨科学公園都市における関係機関の取組内容

### (1) 播磨高原東小学校及び播磨高原東中学校の在り方検討会について

別添 1

## 4 播磨科学公園都市における関係機関の取組内容

### (2) 兵庫県立大学 播磨理学キャンパスの取組について

別添 2

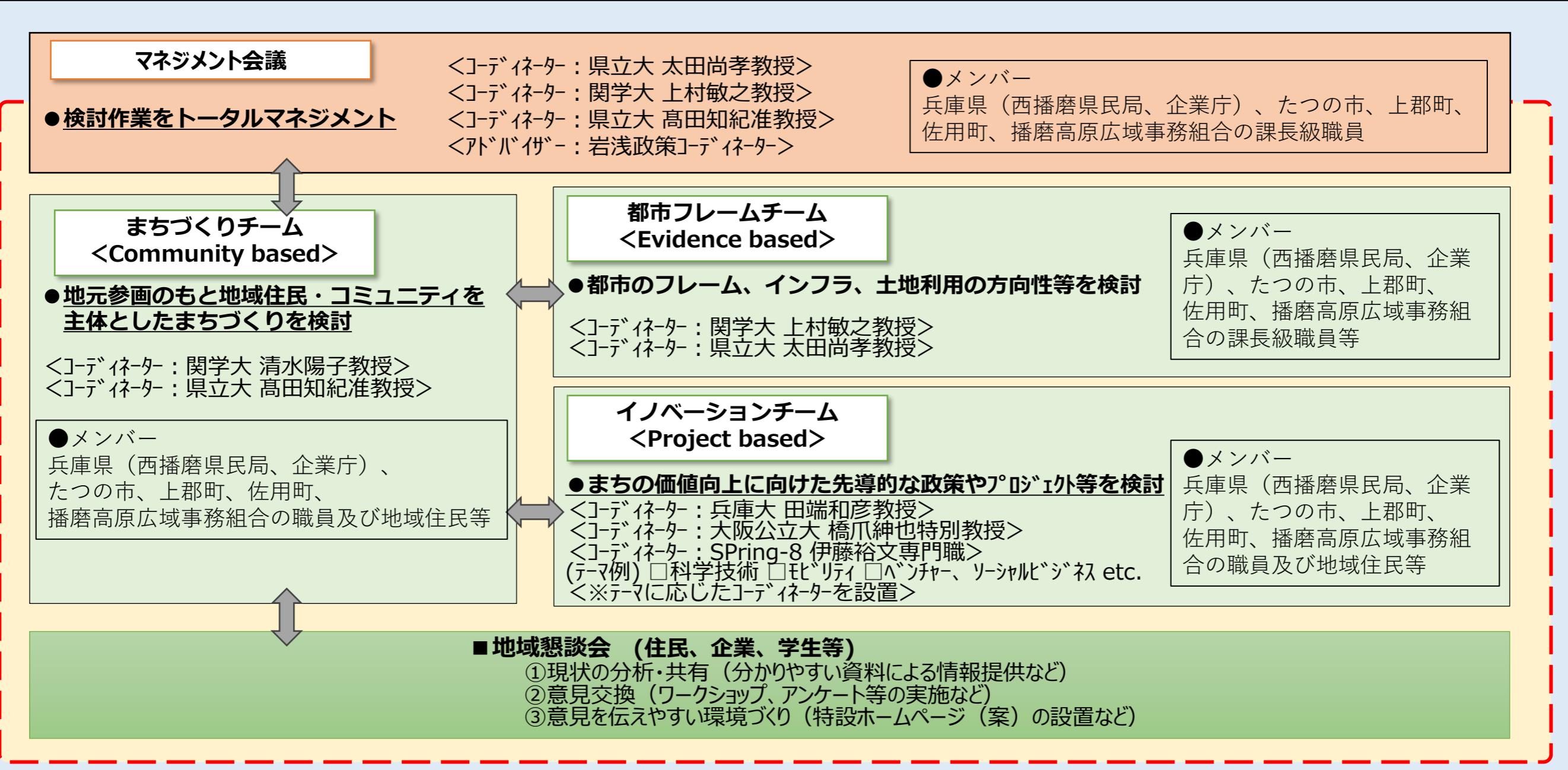
## 4 播磨科学公園都市における関係機関の取組内容

### (3) SPring-8の取組について

別添 3

## 5 今後の進め方

### (1) 作業部会の検討体制（案）



## 5 今後の進め方

### (2) 今後の検討の方向性（案） – 部会ごとの論点整理

これまでの協議会等における議論や住民意見等を踏まえ、今後の検討に係る論点を整理した。

#### 1. まちづくりチーム

##### ●地元参画のもと地域住民・コミュニティを主体としたまちづくりの主な論点（案）

カテゴリー	主な論点（案）
くらし	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日常生活（医療・福祉・買い物等）の基盤の確保</li> <li>● くらしの安全（防災・防犯等）の確保</li> <li>● 公共交通機関等の交通利便性、持続可能なモビリティの確保</li> <li>● 住環境の質の確保（豊かな自然環境との調和、多様な世代への配慮等）</li> <li>● 働く場・環境の確保</li> <li>● 多様な人がつながるコミュニティの形成</li> </ul>
学び	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 質の高い教育環境の確保</li> <li>● 学生・研究者にとって魅力あるまちづくり</li> <li>● 研究機関×大学×企業×地域による新たな学び・交流の創出</li> </ul>
にぎわい創出・活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民・学生・研究者等多様な人が交流する機会・場（空間）の創出</li> <li>● 都市ブランドや魅力の創出・発信、シビックプライドの醸成</li> <li>● 既存施設、未利用地、遊休施設等の有効活用</li> <li>● 若者等の定住・雇用環境の整備</li> <li>● 自然、都市の魅力を活かしたまちの魅力づくり、イベントの展開</li> </ul>

## 5 今後の進め方

### (2) 今後の検討の方向性（案） – 部会ごとの論点整理

#### 2. 都市フレームチーム ●都市のフレーム、インフラ、土地利用等の主な論点（案）

カテゴリー	主な論点（案）
施設・インフラ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共施設のあり方についての考え方（統廃合・複合化等）</li> <li>● 上下水道の効率化</li> <li>● 既存資産の整理・再生・活性化等、方針の整理</li> <li>● 都市施設等の維持管理手法の検討</li> </ul>
財政	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 投資優先度の明確化（限りある財源の効果的・効率的配分）</li> <li>● 施設等維持コストの削減、民間活力の導入</li> <li>● 新たな財源確保方策の検討</li> <li>● 公共サービス維持・確保に向けた持続可能な財政モデル（県・市町等の役割分担）</li> </ul>
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 未開発エリア（第2・第3工区）に対する基本的な方針</li> <li>● 土地利用計画の見直し</li> <li>● 景観規制の見直し</li> </ul>

## 5 今後の進め方

### (2) 今後の検討の方向性（案） – 部会ごとの論点整理

#### 3. イノベーションチーム

##### ●まちの価値向上に向けた先導的な政策やプロジェクト等の主な論点（案）

カテゴリー	主な論点（案）
科学技術 ・産業振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 立地の優位性等を活かした企業誘致</li> <li>● 研究成果の社会実装・地域還元（起業、試作・実証フィールド等）</li> <li>● 産学官民の連携促進</li> <li>● 研究者の滞在環境整備</li> <li>● 人材循環の仕組み 等</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 播磨科学公園都市ならではの会議・イベント・ツーリズム等の開催・定着</li> <li>● 科学技術を核にしたオープンで国際的な都市イメージ・ブランドの構築</li> <li>● まちびらき30周年を区切りとしたレガシーの形成</li> <li>● 多自然地域の今後のくらしと産業のあり方</li> </ul>

## 5 今後の進め方

### (3) コンセプト（キーワード）（案）

#### テクノの未来を方向づけるコンセプト（キーワード）（案）

- ・ひと中心のまち（ひとくインフラの逆転）
- ・住むことの価値（住民のウェルビーイングの向上）
- ・関係人口との繋がり強化（学生・研究者・来訪者との関わり拡充）
- ・主体性と共創（住民・企業・学生・研究者等のまちづくり参画）
- ・教育 × 科学技術（「テクノらしさ」の追求）
- ・挑戦できる環境（チャレンジ・失敗を許容する文化の醸成）
- ・テクノと周辺地域の連携（テクノ～3市町～西播磨地域の発展へ）
- ・自然環境の保全・活用（適切な管理・利活用の推進）
- ・未利用地の活用 & 企業誘致
- ・インフラの規模の適正化（ダウンサイズ戦略）

## 5 今後の進め方

### (4) 作業部会の基本的な進め方（案）

## 作業部会の基本的な進め方（案）

「播磨科学公園都市の新たなあり方検討協議会」において、これまで、関係する団体（西播磨県民局、たつの市、上郡町、佐用町、播磨高原広域事務組合、兵庫県企業庁）の職員は「マネジメント会議」を通じ、播磨科学公園都市（以下、「テクノ」という。）の現状について共通認識を形成しながら、作業部会設置に向けた取組を進めてきた。

今後、作業部会において、テクノに関する各団体の職員は、以下のことを遵守しつつ、引き続き相手を尊重しながら、主体性をもち、また、協同して部会の運営に努めていく。

### （地域本位）

テクノにおける、地域住民等の暮らし、生活環境及び企業等の事業環境の持続が最優先であること

### （参画と対話）

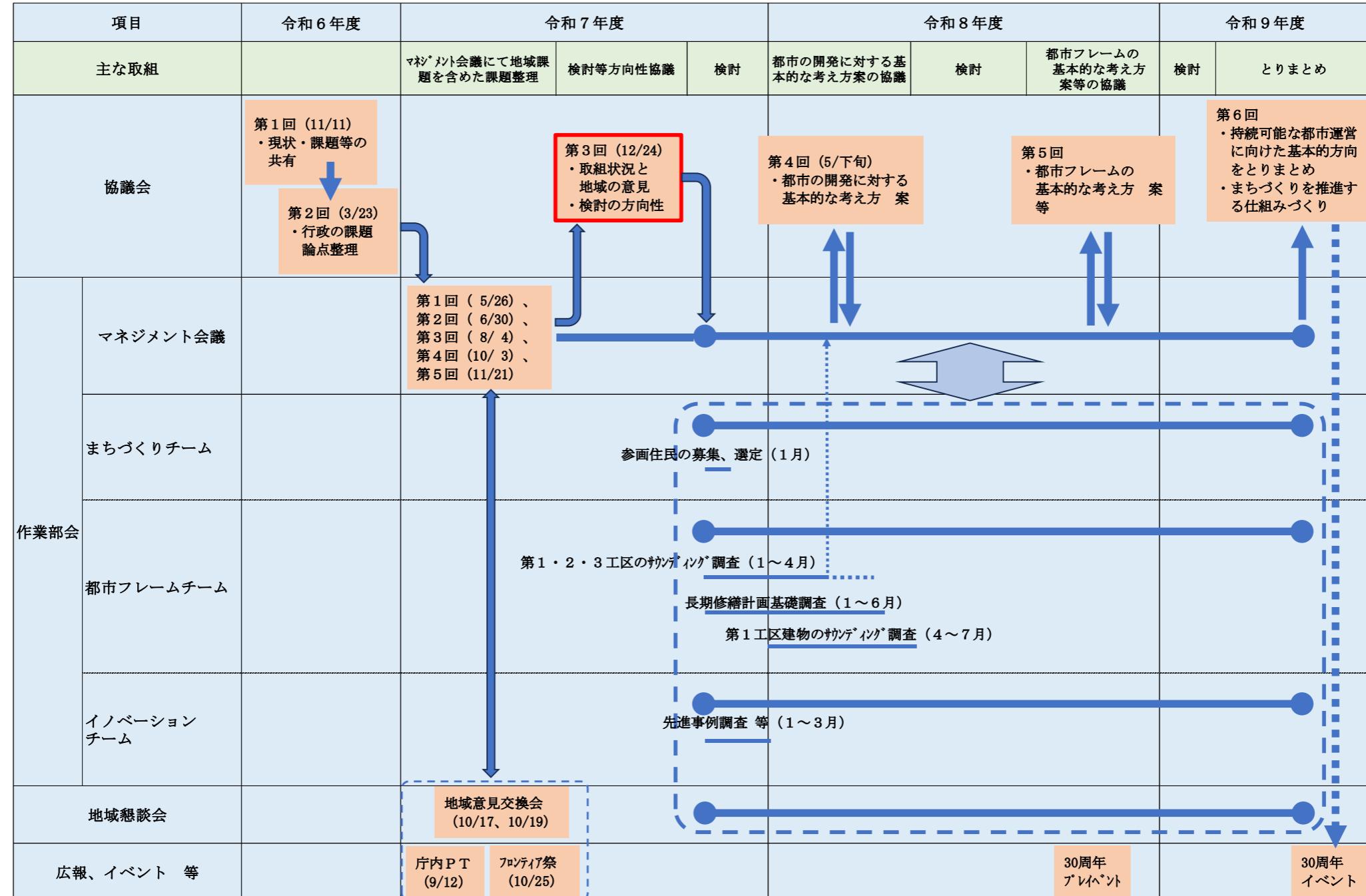
テクノに関する、地域住民、企業及び関係団体等の多様な意見を尊重し、参画と対話に基づき議論を進めること

### （持続可能性）

テクノにおける、都市機能としての必要なインフラを維持しつつ、都市運営を持続可能なものとすること

## 5 今後の進め方

### (5) スケジュール（案）



## 5 今後の進め方

### (6) 部会での当面の取組予定（案）

#### 1. まちづくりチーム

##### 【地域参画者の募集】

- ・地元目線での課題解決や地域主体でのまちづくりの検討のため、部会への参画を希望する地域関係者を募集する。
- ・その他、地域関係者と広く意見交換できる機会を継続的に設ける 等

#### 2. 都市フレームチーム

##### 【第1工区未利用地、第2・3工区のサウンディング調査の実施】

- ・民間事業者と対話し、産業・商業・住宅用地等の創出やその他の利活用における課題、様々なアイデアや各種条件等の整理を行い、未利用地の利活用検討に向けた基礎資料とする 等

(概要) 実施時期 : 令和8年1月～4月頃

第1工区未利用地 : 約40ha

第2・3工区進度調整地 : 約770ha

#### 3. イノベーションチーム

##### 【先進事例の調査】

- ・まちの価値向上に向けた先導的な政策やプロジェクト等の事例を調査する 等

※各チームが相互に連携しながら進める